

メーカー	トヨタ	車体型式	P13#系
車種	ヴィッツ ハイブリッド (プッシュスタート装備車)	年式	H29.1~R2.3
専用ハーネス	T-200		

- ブリクラッシュセーフティーシステム無し車に取り付けを行う場合、コネクタC(7Pin)カブラの配線加工が必要となります
下記コネクタ形状を確認し、加工接続が必要となる場合、次項を参照ください。
- 電気式ドアロックスイッチ(ドアロックスイッチで全席のドアロック制御が可能なもの)装備車のみドアロック制御の取り付けが可能です。
キーレスエントリー(A-17SF)オプション対応の機種 ⇒ キーレスエントリーA-17SF が別途必要です。

【 エンジンスターター使用上の注意 】

- エンジンスターターによるアイドリング時の使用制限
 - ・エンジンスターターでのエンジン始動中は、キーレスリモコンによるロック/アンロックはできません。
 - ・エンジンの始動時にストップランプが点灯します。
- その他使用制限
 - ・ターボタイマー機能は使用できません
- 車両のライトスイッチをオートライトで使用する場合、別売品の A-60 が必要となります
- A-18SF (ハザード制御) を取り付ける場合、A-18SF の常時電源 (赤線) はオーディオの常時電源線に接続しないでください

(オーディオ裏 オプションコネクタ) **接続先 2** **接続先 1** **コネクタA (10ピン) を接続します。**
コネクタB (5ピン) を接続します (オーディオ裏) **オーディオの電源コネクタへ接続**

- ・純正ナビ装着車の場合、ナビにオプションコネクタが接続されています。
- ・ナビレス車の場合、オプションコネクタは接続されていないため、エンジンスターター取付時製品のコネクタB メス側のカブラは接続が無い状態となります

オーディオの電源コネクタへ接続

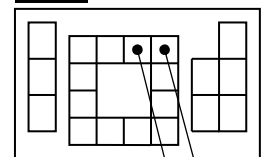
接続先 4

(プッシュスタートスイッチ) **コネクタD (10ピン) を接続します。**

本機でドアロック/アンロック操作を使用する場合の接続先

運転席ドアからきているハーネスの中継コネクタへ

20P (乳白色)



ドアアンロック(緑)

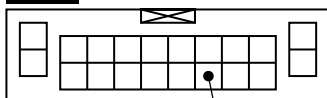
ドアロック(黒)

助手席側のサイドカウル内にあるハーネスの中継コネクタへ

接続先 5

コネクタE (20Pin) を接続します。

20P (乳白色)



ドア(赤)

コンライト線接続先 (上記コネクタ接続先5と同じコネクタ)

接続先 3 (フットブレーキスイッチ)

コネクタC (7Pin) 接続場所

車両側のコネクタ形状が下記 (左側) の場合、加工接続が必要となります。



(加工が必要 コネクタCの接続方法は次項参照)



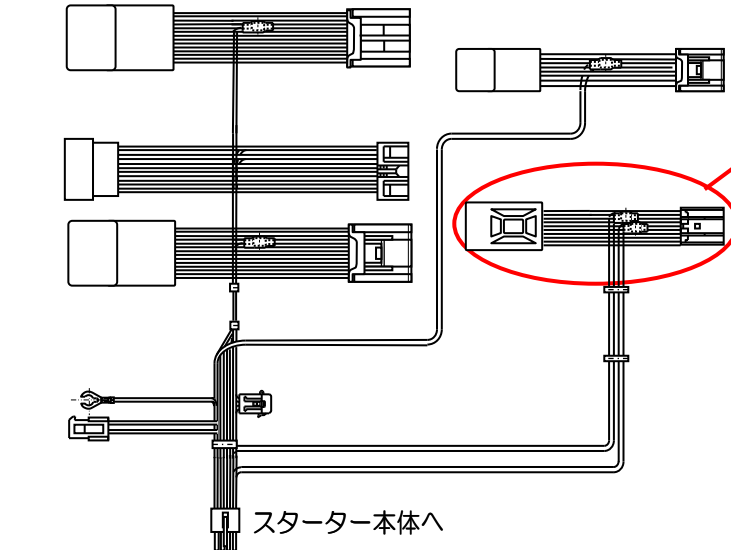
(加工無し コネクタCがそのまま接続可能)

メーカー	トヨタ	車体型式	P13#系
車種	ヴィッツ ハイブリッド (プッシュスタート装備車)	年式	H29.1~R2.3

●プリクラッシュセーフティーシステム無し車に取り付けを行う場合、コネクタC(7Pin)カブラの配線加工が必要となります

コネクタC (7ピン) の加工方法

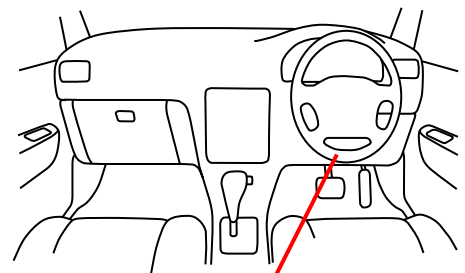
※必ず下記の通り接続してください。正しく接続ができていない場合、ブレーキ検出ができません



コネクタC (7Pin)

必ず、車両のブレーキカブラ形状を確認してから作業を行ってください。

車両のブレーキカブラが 7Pin の場合、そのままエンスタ側のコネクタC を接続します

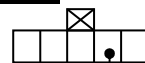


車両ブレーキスイッチ

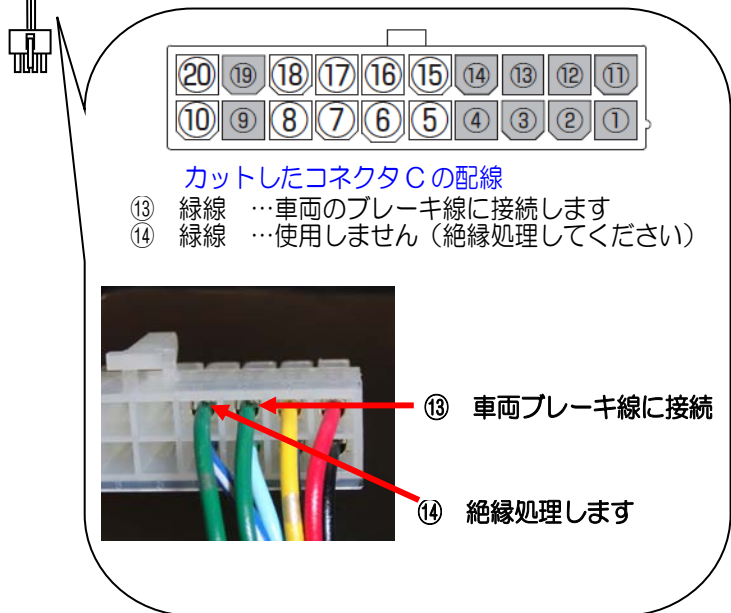
コネクタC (7ピン)

カットします

5P (青色)



ブレーキ (赤)



カットしたコネクタCの配線

- ⑬ 緑線 …車両のブレーキ線に接続します
- ⑭ 緑線 …使用しません (絶縁処理してください)

⑬ 車両ブレーキ線に接続

⑭ 絶縁処理します

左図でカットしたコネクタC (緑線) ⑬の配線を上記、車両ブレーキ線 (赤) に接続します

※⑭の車両ブレーキに接続しない配線は必ず絶縁処理をしてください

ブレーキ検出の設定手順

全ての配線接続が終了し、ジャンクションユニットに電源投入後、ジャンクションユニットから「ピーピーピー ピーピーピー ピーピーピー ……」音が鳴っている状態で、下記手順で設定を行ってください。

- 1 車両の純正スマートキーを車外に持ち出し、ドアを閉じ、開ける。
→純正スマートキーが車内にある場合や、車外でも車両に近い場合、ブレーキ検出の設定操作ができる事もあります。スターターでのエンジン始動が出来ない原因となります。(目安として車から1~2m位離してください)
→ドアを閉じ、開けるとジャンクションユニットは「ヒビビッ ヒビビッ ヒビビッ ……」音に変わります。
- 2 純正スマートキーを携帯し車両に乗り込み、シフトレバーがP（パーキング）になっていることを確認し、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを押しIG ONにします。
→プッシュスタートスイッチを押すごとに OFF → ACC → IG → OFF …の順に切り替わります
→ジャンクションユニットの確認音「ヒビビッ ヒビビッ…」が止まります。
- 3 ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください)
→ジャンクションユニットから「ピッ」音が鳴ります。
- 4 ブレーキペダルから足を離します。
→ジャンクションユニットから「ピロロロロ」音が鳴ります。
- 5 プッシュスタートスイッチを押して電源をOFFにします。

リモコン操作時の注意事項

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



- 純正スマートキーをリモコンのストラップのリングに取り付けてください。
- 市販のキーリングを使用する場合は、リモコンと純正スマートキーの間隔が4cm以上離れないようにしてください。
- リモコンと純正スマートキーは、リングで取り付けたまま一緒に携帯してください。
- リモコンと純正スマートキーを重ねてエンジン始動しないでください。
→エンジン始動できない原因となります

